

引っ越しシーズン 到来

ついこの間お正月だったと思ったのに、もう3月。早いですね。みなさん、月日の流れにちゃんとついていけてますか？さて、3月は旅立ちの季節、多くの人が新しい世界への期待に胸を膨らませていることかと思えます。

同時にこの時期は進学や就職、結婚や転勤等々で引っ越しをする人も多いですね。そこで今回は、総務省の住民基本台帳人口移動報告より、沖縄県の引っ越しの状況について調べてみました。

移動者数の推移（平成21年～平成26年）[沖縄]

	都道府県内移動	他都道府県からの転入者	他都道府県への転出者	転入超過数
H26	45,819	24,356	24,393	-37
H25	46,090	24,517	24,486	31
H24	44,866	25,271	24,156	1,115
H23	44,878	26,686	23,539	3,147
H22	45,132	24,399	23,983	416
H21	44,620	26,653	25,852	801

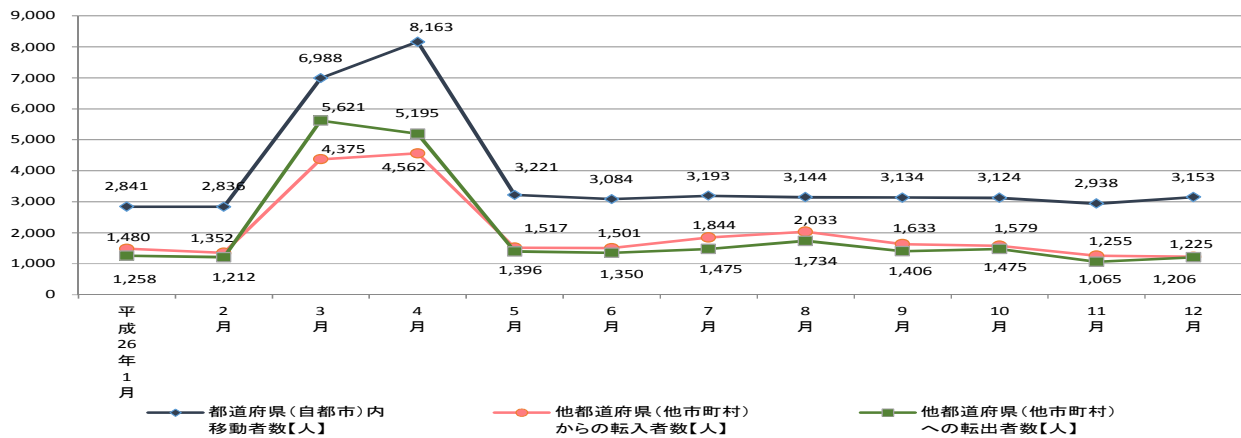
沖縄県内及び県外への転入・転出者はどのくらいいるのでしょうか。

右の表は平成21年からの県内および県外の転入・転出者数の推移を示した表です。平成26年は過去6年で始めて転出が転入を上回りました。

(注) 外国人除く

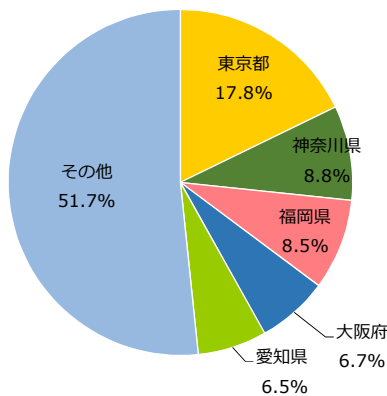
単位：人

平成26年 県内の移動者数及び他都道府県からの転入・転出者数（沖縄県）

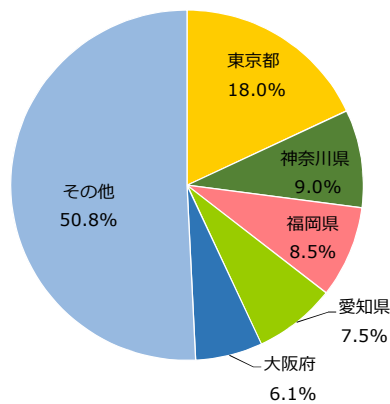


平成26年の県内の移動者および他都道府県の転入・転出者数を月別にみると、3月・4月が最も多くなっています。それ以外の月では、県内の移動者数は3,000人前後で推移していますが、県外からの転入者・県外への転出者は1,000人台となっています。特に8月は県外からの転入者が2,000人を超えていますが、やはり「ケラマブルー」に代表されるような、どこまでも透明な青い海と夏の日差しが人を魅き付けるからでしょうか。

沖縄への転入者の主な移動前の住所地



沖縄からの転出者の主な移動後の住所地



最後に、他都道府県からの転入者および他都道府県からの転出者について主な移動前の住所地をみてみましょう。転入者・転出者ともに東京都がそれぞれ17.8%、18.0%と最も多く、次いで神奈川県、福岡県の順となっています。福岡県が3位に入っているというのは意外ですが、同じ九州でなじみがあるということかもしれません。

今年も多くの方が新しい土地で新年度を迎えることと思います。県外で生活を始める方も、新しく沖縄に来る方も、4月からの新生活が盛り多いものでありますように…。